

石川県内の企業・団体で働く

女性管理職のロールモデルにインタビュー！



キスモ株式会社

取締役 総務人事部長 田中 千弓 さん

<プロフィール>

- ・県外出身。就職を機に金沢へ
- ・求人広告の仕事からキスモ(株)へ転職
- ・R3 社内初の女性管理職であるマネージャーに就任
- ・R4～ 現職

Q 現在のお仕事について教えてください

A 総務として人事や求人・採用関係のほか、会社の広報・広告全般を担当しています。

Q 20代で取締役兼部長に就任されましたが、今までのキャリアについて教えてください

A 高校卒業後、求人広告の仕事への就職を機に金沢にきました。そこから縁あってキスモに転職しました。最初は保険の事務として入社しましたが、元々チラシとか絵を描くのが得意で、たまたま作った会社のチラシを当時の会長や社長（現会長）に褒めていただき、そこから会社の色々な仕事をするようになり、入社4年目の時に新しく創設されたマーケティング部門のマネージャーに就任して、管理職となりました。そしてその1年後に取締役に就任しました。

Q 元々管理職になりたいという気持ちはありましたか？

A 全然なかったです（笑）。

そもそも、管理職って20代でなるものではないと思っていましたし、中小企業なのでこれより上に上がることもないと思っていました。

Q 管理職を打診された際にどんなことを感じましたか？

A 頭が働かなかったですね。初めての管理職という立場もそうですけど、新たにできた部門で全部イチから好きにやっていいって言われて、まず何をしたらいいの？っていう戸惑いが大きかったですね。

でも実際やってみると、今まで自分がやってた業務をより責任をもってやるという感じだったので、特に仕事が増えたとかではなかったですね。

Q 管理職としての難しさを感じたのはどんな時ですか？

A 社内の他の管理職の方が全員男性・年上だったので、最初はすごい気を遣ってやっていましたね。今も気は遣いますが（笑）。

あとは、トップと現場との板挟みに悩みました。役員会などに出てトップの話を知ると、「そうだな」と思う反面、現場の気持ちというのも良く分かるので、そこをどうしたらいいのか悩む時期がありました。



20代で取締役役に就任された田中さん。よく経営者の親族と間違われるそうですが、地元は名古屋のIターン組で無関係ですと笑ってお話されていました。現在は、新たに導入されたテレワークで名古屋から勤務されています。

Q トップと現場との板挟みの悩みをどのように解決していききましたか？

A 私がモヤモヤしても仕方ないと開き直って、現場の声はもちろん上に伝えますし、それでも伝えたいことがあるなら、経営陣と直接意見を交える場を取り持つことにして、会長とか社長も連れてきたりするようにしました。又聞きで話を聞くよりも、直接トップ等の話を聞いた方が納得できると思いますし、せつかく働いたらお互い納得した環境で働いてもらえた方がいいと思うので。大きい会社でもないからできることかもしれません。

Q 管理職になる上で意識しておいた方がいいことはありますか？

A 「気にしないこと」ですね。どうしても立場上、上からも下からもあーだこーだ言われるので、それを全部いちいち気にしてたらキリがないです（笑）。一方で、その中でどれを真摯に受け止めなきゃいけないのか、どれは放っておいて大丈夫なのかを見極めるスキルが大切だと思っています。

Q 最後に、今後管理職を目指す後輩へ一言メッセージをお願いします



従業員の人から「ありがとう」と感謝される存在になりたいと話す田中さん。社長からは、「自ら学ぼうとする姿勢など、すごい積極的なところが長所で、これからもっと色々な経験を積んで、色々な人と出会って対話して、自分の視野や価値観をどんどん広げていって欲しい」とコメントをいただきました。

A “頑張らないこと”を頑張りたいです！

管理職を目指そうという方は、多分真面目な方で、「こうありたい！」という理想像や目標をしっかりと持っている方が多いのかなと思います。根を詰め過ぎると疲れてしまうので、頭の片隅に”頑張らないことを頑張る”を意識しながら、出来る範囲で頑張りたいと思います。ちょっとダラしないくらいが丁度いいかもしれません。（笑）

管理職だから全部1人で頑張る必要はなく、周囲には優秀な方がいっぱいいるので、周りにもどんどん頼って、結果的に個人だけでなくチームとしても成長していければいいのかなと思っています。